

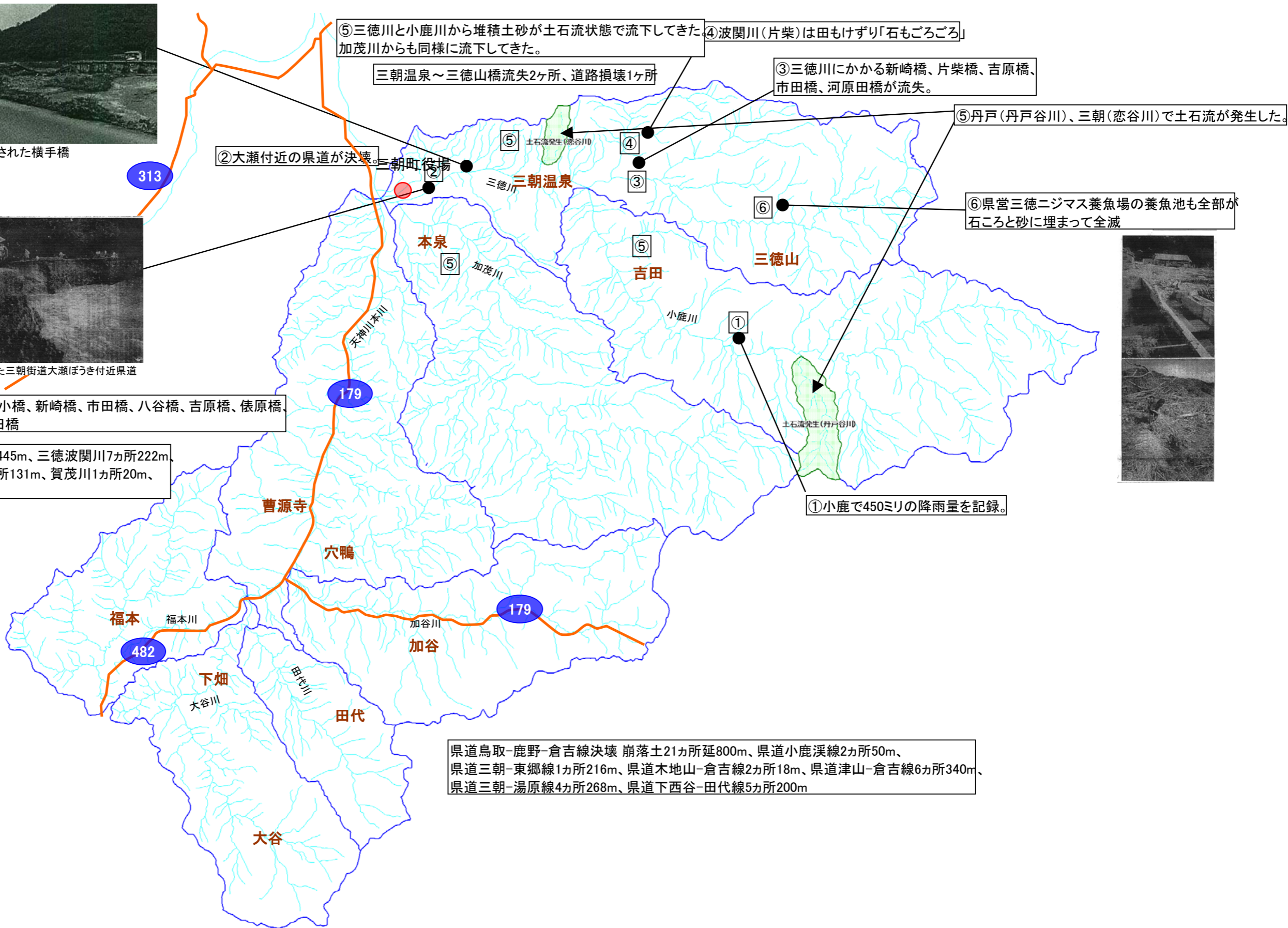
昭和34年 伊勢湾台風(天神川本川流域)



台風で流された横手橋



えぐりとられた三朝街道大瀬ぼうき付近県道



⑤三徳川と小鹿川から堆積土砂が土石流状態で流下してきた。加茂川からも同様に流下してきた。

④波関川(片柴)は田もけずり「石もごろごろ」

③三徳川にかかる新崎橋、片柴橋、吉原橋、市田橋、河原田橋が流失。

⑤丹戸(丹戸谷川)、三朝(恋谷川)で土石流が発生した。

②大瀬付近の県道が決壊。

⑥県営三徳ニジマス養魚場の養魚池も全部が石ころと砂に埋まって全滅

県橋梁流失、落橋 勘平茶屋下床板小橋、新崎橋、市田橋、八谷橋、吉原橋、俵原橋、俵原2号橋、片柴橋、大崩橋、河原田橋

護岸堤防決壊、三徳川本流11カ所1445m、三徳波関川7カ所222m、三徳坪谷川11カ所470m、小鹿川2カ所131m、賀茂川1カ所20m、竹田川5カ所125m

①小鹿で450ミリの降雨量を記録。

県道鳥取-鹿野-倉吉線決壊 崩落土21カ所延800m、県道小鹿溪線2カ所50m、
 県道三朝-東郷線1カ所216m、県道木地山-倉吉線2カ所18m、県道津山-倉吉線6カ所340m、
 県道三朝-湯原線4カ所268m、県道下西谷-田代線5カ所200m